

消化器病センター

■賀古 眞 センター長

■金原 毅 部長

■小泉 一也 部長

■江頭 秀人 部長

■佐々木 亜希子 医長

■魚嶋 晴紀 医長

■滝沢 聡

■増田 作栄

■所 晋之助

■市田 親正

展望

消化器内科と肝・胆・膵疾患治療センターが消化器病センターへと統合され、2015年も賀古眞医師をセンター長とし、肝臓分野を金原部長、消化管分野を江頭部長、胆・膵分野を小泉部長、がそれぞれ責任者（グループ長）として、外来ならびに入院の消化器内科領域の診療とその領域の若手医師教育を行っている。

診療に関しては、当院が急性期ならびにがん治療を柱としていることから、消化管出血や急性胆管炎、急性肝炎等の消化器急性疾患と消化器全般のがんに対する診断ならびに低侵襲治療を行っている。

消化管穿孔などの明らかに外科治療が優先される急性腹症を除き、消化管出血等の消化器急性期疾患はまず当センターで対応している。消化管出血に対しては、スタッフ数の問題があり総合内科・外科・ER科の協力を得ながら、内視鏡オンコールを毎日設定し緊急内視鏡・内視鏡的止血術が常時可能な体制にある。またスタッフ間の連携体制によって消化管領域にとどまらず胆・膵ならびに肝臓領域における急性期疾患にも常時対応可能である。一方当センターでの治療が難渋と判断された症例では、当院外科や

IVRセンターと密接な連携を保ち迅速な対応が可能である。

がん診療においては、まず質の高い診断をすることによって正確な病状（進行度）把握することに努め、その上で外科、IVRセンター、病理と合同のカンファレンスを行い、検査結果を総合的に検討することによって個々の症例に適した治療方法を決定することに努めている。がん治療に関しては、前述の診療科だけではなく、当院では化学療法（オンコロジーセンター）、放射線治療（放射線腫瘍科）が可能であり、これら各診療科とも協力しながら集学的治療も実践している。また診断や早期がんの低侵襲的治療だけではなく、例えば進行大腸癌による大腸閉塞に対するステント留置等更なる治療への前治療としてあるいはQOLを考慮した緩和医療としての進行がんに対する治療も行っている。

若手医師教育に関しては、数か月以内の短期間の研修の場合は本人の希望を聴取しできる限り希望が実現できるような研修を目指しているが、胃炎など common diseaseの消化器疾患管理や消化器症状の初診時対応が可能となるよう指導している。一方、消化器領域を将来目指している若手医師の場合には各学会の指導指針に基づき約3年間の研修を行っているが、特に当センターでは内科全般の診療が可能な視野の広い消化器医を目指し指導している。早期から積極的に診察、検査、治療を受け持ち知識だけではなく技量も早くに習得できる環境にある。

症例数も多く診療、教育と多忙な毎日を送っているが、忙しさに流されることがないように過去を検証し、また最新の技術や知識の習得を常に心がけるために、積極的に学会・論文発表等行うことを奨励している。学術業績に示す通り例年同様2015年も多数の学会ならびに論文発表行ってきた。また院内で

は、各グループが日曜・祝日を除き毎日ミーティングを行い入院患者の検討を行い、毎週金曜日に消化器勉強会を行っている。さらに外科・病理・放射線・IVRセンター等による合同のカンファレンスとして、G.I.カンファレンスや肝臓画像カンファレンスを週1回行い、関連する診療科との連携を密にしている。

今後も優秀なスタッフの増員をめざし、その結果として上・下部消化管内視鏡、ERCP、治療内視鏡、経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)による肝癌治療等、各領域の検査・治療件数の増加、学会活動、臨床指導の充実を計る。また、各診療グループの専門的な診療技術向上に努めかつ消化器病センターとしての連帯を強化することを努めつつ、他科との連携を重視し「消化器領域において患者様に最大限の利益を提供する」診療科を目指していきたい。

診療実績

入院患者数	1,700
外来患者数	22,278
上部内視鏡検査	9,454
下部内視鏡検査	4,926
内視鏡的逆行性膵胆管造影検査(ERCP)	465
胃食道静脈瘤治療	41
肝嚢胞穿刺術	9
肝がん経肝動脈化学塞栓術(TACE)	76
肝がんラジオ波焼灼療法(RFA)	58
経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)	32
バルーン下逆行性経静脈的塞栓術(BRTO)	20
血管塞栓術(止血術)	41
慢性C型肝炎インターフェロン治療IFN 3剤併用療法	42

内視鏡的超音波検査(EUS)	278
内視鏡的ポリペクトミー/内視鏡的粘膜切除術(EMR)	1,197
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	209
内視鏡的止血術	332
内視鏡的拡張術	88
内視鏡的異物除去	46
内視鏡的ステント留置術	37
内視鏡的胃瘻造設術(PEG)	43

学術業績

1. 論文

(和文)

- 1) 江頭秀人. 内視鏡検査に必要な解剖学と生理学 消化管の形態と機能. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック, 改訂第7版, 医学図書出版 第7版
- 2) 増田作栄, 小泉一也, 魚嶋晴紀, 賀古眞. 2年の経過で皮下に排出された骨盤内異物の1例 日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242) 第35巻 第6号 ; 815-818.

(洋文)

- 1) Koizumi K, Masuda S, Uojima H, Ichida C, Tokoro S, Sasaki A, Egashira H, Kinbara T and Kako M. Endoscopic ultrasound-guided drainage of an amoebic liver abscess extending into the hepatic subcapsular space. Clin J Gastroenterol Aug;8(4) 232-235.

2. 学会

- 1) 所晋之助, 魚嶋晴紀, 市田親正, 増田作栄, 佐々木亜希子, 小泉一也, 江頭秀人, 金原猛, 賀古眞: 異時性重複癌の治療後に小腸内細菌過剰繁殖症による吸収不良症候群が呈した一例. 第

-
- 11) 日本消化管学会総会，東京，2015，2.
 - 2) 櫻井聖子，魚嶋晴紀：トルバプタンを使用した水制限．第30回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2015，2.
 - 3) 櫻井聖子，宮崎奈緒子，小澤康久，魚嶋晴紀，金原猛，賀古眞．新たな肝硬変患者の飲水制限．第30回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2015，2.
 - 4) 柴康弘，増田作栄，小泉一也，魚嶋晴紀，市田親正，所晋之助，佐々木亜希子，江頭秀人，金原猛，賀古眞：原発性副甲状腺機能亢進症に合併した急性膵炎の1例．第333回日本消化器病学会関東支部例会，東京，2015，2.
 - 5) 魚嶋晴紀，伊藤亮治，佐々木亜希子，賀古眞：80歳以上の高齢者に対する腹部救急疾患の治療．80歳以上の高齢者における緊急内視鏡検査．第51回日本腹部救急医学会総会，京都，2015，3.
 - 6) 片桐欧，魚嶋晴紀，増田作栄，北川泉，賀古眞：外傷性くも膜下出血を契機に原発性副腎機能低下症が顕在した1例．第612回日本内科学会関東地方会，東京，2015，3.
 - 7) 新津敬之，魚嶋晴紀，北川泉：溶血性貧血を伴った*Clostridium perfringens*の1例．第112回日本内科学会総会，京都，2015，4.
 - 8) 魚嶋晴紀，金原猛，賀古眞：門脈圧亢進症の病態と課題 肝性浮腫に対するトルバプタンの治療効果．第101回日本消化器病学会総会，仙台，2015，4.
 - 9) 金原猛：病診連携報告．第1回鎌倉市消化器病研究会，鎌倉，2015，4.
 - 10) 佐々木亜希子：病教訓的な食道癌ESDの3例．第1回鎌倉市消化器病研究会，鎌倉，2015，4.
 - 11) 魚嶋晴紀：高齢者における難治性C型肝炎の1例．第1回鎌倉市消化器病研究会，鎌倉，2015，4.
 - 12) 増田作栄：膵管内乳頭粘液性腺癌（IPMC）に胆管上皮内癌を合併した1例．第1回鎌倉市消化器病研究会，鎌倉，2015，4.
 - 13) 小泉一也：膵・胆道内視鏡の最先端～診断・治療から緩和医療まで～．第1回鎌倉市消化器病研究会，鎌倉，2015，4.
 - 14) 増田作栄，小泉一也，魚嶋晴紀，市田親正，所晋之助，佐々木亜希子，金原猛，江頭秀人，賀古眞．急性胆管炎に対する細菌培養結果からみた治療方針についての検討．第89回日本消化器内視鏡学会総会，名古屋，2015，5.
 - 15) 市田親正，増田作栄，小泉一也，魚嶋晴紀，所晋之助，佐々木亜希子，江頭秀人，金原猛，賀古眞：内視鏡下整復が可能であった青年期特発性腸重積症の1例．第89回日本消化器内視鏡学会総会，名古屋，2015，5.
 - 16) 梶野浩彰，魚嶋晴紀，市田親正，所晋之助，増田作栄，佐々木亜希子，小泉一也，金原猛，江頭秀人，賀古眞：肝性腹水を伴う重症自己免疫性肝炎に対するトルバプタンの治療効果（優秀演題賞受賞）．第335回日本消化器病学会関東支部例会，東京，2015，7.
 - 17) 増田作栄，小泉一也，市田親正，所晋之助，魚嶋晴紀，佐々木亜希子，江頭秀人，金原猛，賀古眞：経口ならびに経皮胆道鏡下レーザー碎石術の経験．第60回神奈川消化器病研究会，横浜，2015，7.
 - 18) 増田作栄：超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ術の経験．第6回徳洲会グループ消化器内視鏡部会学術集会（Endo-club 2015），札幌，2015，7.
 - 19) 増田作栄，小泉一也，賀古眞：局所進行胆管癌に対するTomotherapyを用いたS-1化学療法・放射線治療併用療法の経験．第51回日本胆道学会，栃木，2015，9.
 - 20) 魚嶋晴紀，金原猛，賀古眞：難治性胸・腹水の
-

-
- 治療法とその適応 難治性腹水合併肝硬変におけるトルバプタン減量因子の検討. 第22回日本門脈圧亢進症学会総会, 横浜, 2015, 9.
- 21) 長崎進哉, 魚嶋晴紀, 北川泉, 賀古眞: 低血糖昏睡にて発症した肝不全合併神経性食思不振症の1例. 第617回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 9.
- 22) 市田親正, 江頭秀人, 所晋之助, 佐々木亜希子, 増田作栄, 小泉一也, 魚嶋晴紀, 金原猛, 賀古眞: 当院における大腸ステント留置術の検討. 第336回日本消化器病学会関東支部会, 東京, 2015, 9.
- 23) 宮川哲, 魚嶋晴紀, 市田親正, 増田作栄, 小泉一也, 所晋之助, 佐々木亜希子, 江頭秀人, 金原猛, 賀古眞: 血液透析患者におけるC型慢性肝炎に対するアスナプレビル+ダクラタスビル2剤併用療法導入後咯血を来した1例. 第336回日本消化器病学会関東支部会, 東京, 2015, 9.
- 24) 魚嶋晴紀: 肝疾患全般. 第24回湘南西部肝疾患研究会, 伊勢原, 2015, 9.
- 25) 所晋之助: 除菌治療の向上をめざして. 第6回湘南若手消化器テクニカルカンファレンス, 鎌倉, 2015, 9.
- 26) 魚嶋晴紀, 金原猛, 賀古眞: 難治性腹水合併肝硬変における水ナトリウム排泄と利尿剤効果の検討. 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW), 新高輪, 2015, 10.
- 27) 増田作栄, 小泉一也, 魚嶋晴紀, 市田親正, 所晋之助, 佐々木亜希子, 江頭秀人, 金原猛, 賀古眞: 重症急性膵炎における急性腎障害の合併に対する検討. 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW), 新高輪, 2015, 10.
- 28) 佐々木亜希子 他: 大腸憩室出血に対する通常濃度バリウム充填療法の検討. 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW), 新高輪, 2015, 10.
- 29) 増田作栄, 小泉一也, 市田親正, 所晋之助, 魚嶋晴紀, 佐々木亜希子, 江頭秀人, 金原猛, 賀古眞, 武田宏太郎, 手島伸一: 胆嚢原発が疑われEUS-FNAにて診断した印環細胞癌の1例. 神奈川県消化器病医学会総会, 神奈川, 2015, 11.
- 30) 関健一, 北川泉, 佐々木亜希子, 市田親正, 所晋之助, 江頭秀人, 賀古眞, 杉本栄康, 築山俊毅, 手島伸一: 転移性肺腫瘍との識別にPET-CTが有用であった肺類上皮血管内皮種の1例. 第620回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 12.
- 31) 所晋之助, 江頭秀人, 市田親正, 増田作栄, 魚嶋晴紀, 佐々木亜希子, 小泉一也, 金原猛, 賀古眞: 湘南地区におけるH.pylori除菌療法の現状と問題点. 第337回日本消化器病学会関東支部会, 東京, 2015, 12.

その他

当センターでは以下のカンファレンスや教室を定期的に開催している。

◆G.I.カンファレンス (毎週火曜日)

外科・病理科・放射線科と合同

◆肝臓画像カンファレンス (毎週水曜日)

IVRセンターと合同

◆消化器病センターカンファレンス (最終週金曜日)

◆肝臓病教室 (3ヶ月毎)

肝臓病患者を対象としたコ・メディカルも参加した公開教室
